

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	都市経済学		
科目基礎情報								
科目番号		0028		科目区分		専門関連 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科		産業技術システム工学専攻（社会環境システム工学コース）（R4年度から）		対象学年		専2		
開設期		後期		週時間数		2		
教科書/教材		都市経済学の基礎、佐々木公明・文世一、有斐閣アルマ,プリント資料他						
担当教員		芥川 一則						
到達目標								
①都市の論理的形成を理解する。 ②都市の構造を理解する。 ③現実の問題の分析能力を身につける。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 都市の論理的形成を理解する。		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2 都市の構造を理解する。		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目3 現実の問題の分析能力を身につける。		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		都市の形成過程でみられる規模の経済、集積の経済について取り上げる。輸送費最小化の観点から見た企業の立地点、アロンソ型都市モデルにおける地代決定メカニズム、そして都市規模と都市システムについて講義する。						
授業の進め方・方法		期末試験は100分の試験を実施する。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。 この科目は学修単位科目のため、事前、事後学習の確認として定期的に授業内容を整理しまとめたものを提出させる。						
注意点		自学自習の確認方法－課題プリントを学生に配布し、それを定期的に提出させる。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	はじめに		導入と授業の進め方			
		2週	都市はなぜ形成されるのか（1）		機会費用、比較優位			
		3週	都市はなぜ形成されるのか（2）		規模の経済、集積の経済			
		4週	都市はどこに形成されるのか		輸送費最小化			
		5週	都市内の土地市場		地価と地代			
		6週	都市内土地利用と地代の決定（1）		アロンソ型都市モデル			
		7週	都市内土地利用と地代の決定（2）		家計の行動			
		8週	都市内土地利用と地代の決定（3）		市場地代の決定			
	4thQ	9週	都市内土地利用と地代の決定（4）		土地利用の効率性			
		10週	都市内土地利用と地代の決定（5）		企業の立地行動			
		11週	サブセンターの形成		都市の拡大とサブセンター			
		12週	土地利用の規制		ゾーニングの必要性			
		13週	都市規模と都市システム		市場都市と中心地理論			
		14週	総合復習（1）		専門用語の確認			
		15週	総合復習（2）		専門用語の確認			
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
		試験		課題		合計		
総合評価割合		80		20		100		
基礎的能力		40		10		50		
専門的能力		20		5		25		
分野横断的能力		20		5		25		